

2023年4月12日

各 位

大和エネルギー・インフラ株式会社

株式会社 CO2O が営む全事業の承継に関する契約の締結について

大和エネルギー・インフラ株式会社（以下、「当社」）は、当社子会社である株式会社 CO2OS（以下、「当社」と併せて「当社グループ」）を通じて、株式会社 CO2O（以下、「CO2O」）との間で、CO2O が営むすべての事業に係る権利義務の一部を承継することを目的とする吸収分割契約を2023年4月4日付で締結したことをお知らせいたします。

1. 本吸収分割の目的

当社は、群馬県伊勢崎市所在の太陽光発電所の開発（2019年7月31日公表）でのCO2Oとの協業以降、FIP制度適用を前提とした鹿児島県薩摩郡さつま町所在の太陽光発電所の開発（2022年5月17日公表）、浜松を中心とする低高圧太陽光バルクの取得（2022年10月26日公表）等、約4年間に亘り、同社と共に、太陽光発電所の取得における評価診断・保守管理・アセットマネジメントの一气通貫モデルを先駆的取組みとして進めて参りました。

また、当社が運用資産を拠出する太陽光私募コアファンド（2021年9月3日公表）においても、複数の運用資産につき、保守管理業務を委託しており、協業先として信頼関係を構築して参りました。

現在、電力システム改革が進捗し、かつ太陽光発電が社会的責任を有する長期電源として活用されるよう大きく政策転換され、太陽光ビジネスを取り巻く環境が大きく変化しております。

このような状況のもと、今般、当社はCO2Oとの間で、太陽光発電事業及びその周辺事業は一定の資本力を有する企業が営み、長期電源化への社会的要請に答えるべきであるとの認識で一致しました。CO2Oは、いわゆる再エネベンチャーとしての黎明期を終え、まさに、ベンチャー成長期に相応しい組織体制や経営・事業戦略を構築することを目的として、当社グループに事業承継をすることで合意に至りました。

当社は、CO2Oの事業をすべて承継するCO2OSが、太陽光発電に係る技術系総合リーディングカンパニーとして、社会的課題を解決しつつ、確実かつ安定的な成長を実現できるよう中長期的にサポートいたします。

併せて、当社は、CO2OSの機能を活用し、FIT低高圧太陽光バルクのセカンダリー取得やNon-FIT太陽光の開発・保有等を加速させ、発電所資産ポートフォリオの拡充を目指し

ます。そして、証券会社グループの投資会社として、これらのポートフォリオの適切な管理・運営を通じて、個人向けも視野に入れた金融商品への転換を推進します。

2. 本吸収分割の当事会社の概要

CO2O は、太陽光発電設備の開発、評価診断、保守管理業務（O&M）及びアセットマネジメント業務に豊富な実績を有しております。CO2OS は、CO2O の営むすべての事業を承継するために設立された当社の子会社です。

それぞれの概要は以下のとおりです。

<CO2O の概要>

会社名	株式会社 CO2O
本店所在地	東京都港区芝浦三丁目 9 番 1 号 芝浦ルネサイトタワー6 階
代表者	代表取締役 酒井正行
資本金	1 億円
事業内容	太陽光発電所の O & M ・ 点検 / 調査 ・ 診断 / 設計 ・ 施工
ホームページ	https://www.co2o.com/

<CO2OS の概要>

会社名	株式会社 CO2OS (大和証券グループ 100%子会社)
本店所在地*	東京都千代田区丸の内一丁目 9 番 1 号
代表者	代表取締役 松田守正
資本金	2 億円

*吸収分割の効力発生日に、東京都港区芝浦三丁目 9 番 1 号 芝浦ルネサイトタワー6 階、に変更予定です。

3. 本吸収分割契約の概要

<本吸収分割契約の概要>

吸収分割	吸収分割会社たる CO2O は、自らが営むすべての事業に係る権利義務の一部を、吸収分割承継会社たる CO2OS に承継させる
効力発生日	2023 年 5 月 15 日 (予定)

4.今後の見通し

今後、会社法その他の法令に基づく各種手続き、CO2O 及び CO2OS による株主総会決議を経て、5月15日に吸収分割の効力が発生する見込みです。当該手続きが完了次第、別途、CO2OS の経営体制等の詳細をお知らせいたします。

以 上